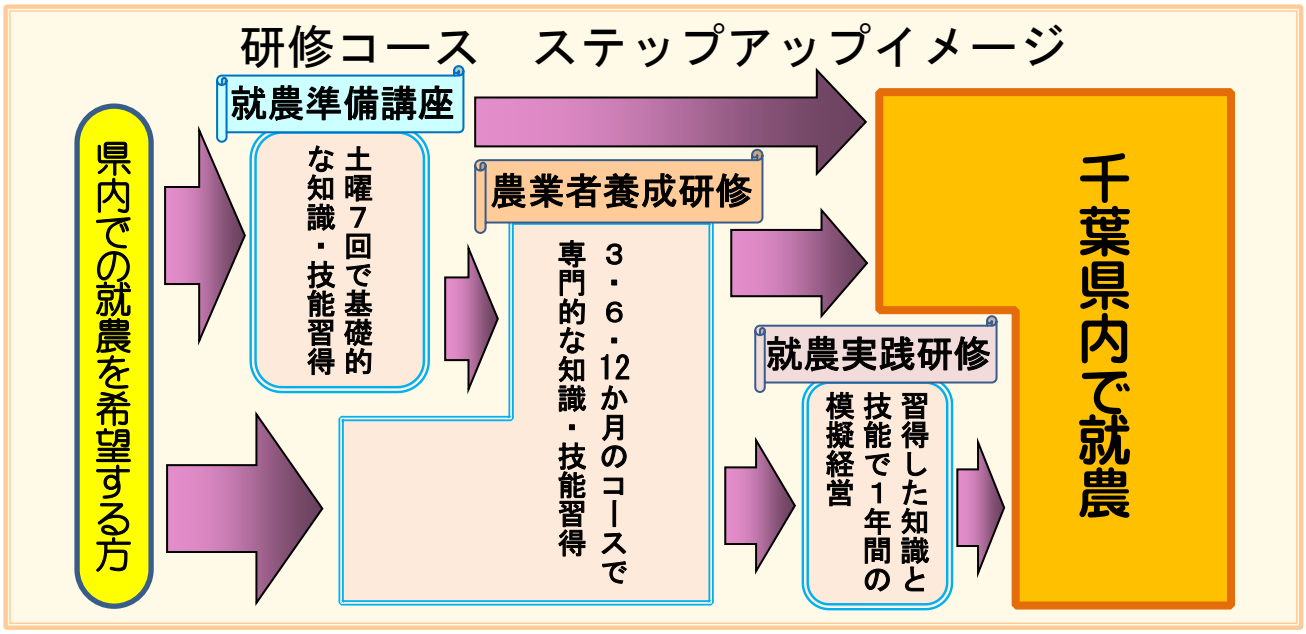
Ⅰ　就農希望者・新規就農者向け研修



１　就農準備講座　－仕事の合間に基礎を学ぶ－

〇将来、県内で職業として農業に取り組もうとしている方が対象
　基礎的な農業知識の習得と農作業を体験します。農作業初心者向けです。
〇毎週土曜日に連続７回実施
　野菜・花き等の栽培過程の作業体験と新規就農の事例を視察します。
〇研修時間は、午前１０時から午後４時
　午前は講義、午後は野菜・花き栽培関連の農場実習をおこないます。

区分	研修期間	研修回数	募集人員	応募受付期間
前　期	令和５年 ５月１３日(土) ～６月２４日(土)	毎週土曜日開催 研修回数７回	１５名	令和５年 ３月６日(月) ～３月２４日(金) （消印有効）
後　期	９月１６日(土) ～１０月２８日(土)	毎週土曜日開催 研修回数７回	１５名	７月１０日(月) ～７月２８日(金) （消印有効）

受講案内

〇応募資格：千葉県内で職業として農業に取り組もうとする方
　※外国籍の方は「就労に制限が無い」在留資格であること
〇応募手続き：所定の受講願書を持参又は郵送
　※外国籍の方は「就労に制限が無い」ことが確認できる住民票やカード等の写しを併せて添付
〇選考方法：書類審査を行い、受講者を決定
　受付期間終了後３週間以内に結果を通知
〇受講料：無料（別途、傷害保険料と校外見学等に実費約 1,000 円が必要）
〇応募用紙（受講願書等）：応募用紙は農業大学校のホームページからダウンロードか、農業大学校農業研修科へ請求

２ 農業者養成研修　―就農のために学ぶ―

県内で職業として農業を始めようとする方や、県内で既に農業を開始している方が対象。研修期間が３か月の基礎研修、６か月の専門研修、１２か月の部門別研修の３コースがあります。新規就農には、春・秋の作付けが経験できる１２か月の研修をお勧めします。

【研修日、時間等】

〇研修開催日：月曜日～金曜日（国民の祝日及び１２月２９日～１月３日を除く）
※農場当番（日直）は土・日・祝日・１２月２９日～１月３日もあります

〇研修時間：午前９時～午後４時１０分（農場当番の日を除く）

【主な内容】

（１）座学（前期・後期ともに最初の３か月間は各コース合同で受講）
講義科目：野菜、花き、作物、果樹、土壌肥料、病害虫、農業経営、獣害対策ほか

（２）農場実習
県内で栽培される主な野菜･花きの栽培管理を実習（穀類や果樹･畜産はありません）

（３）プロジェクト実習
各自が作成した栽培計画に基づき栽培を実践

（４）農場当番（日直）
早朝と夕方のハウス開閉とかん水作業等を、月に数回経験（週末・祝日も担当）

（５）直売所運営
農場内の直売所で近隣住民への対面販売を経験

（６）校外学習
新規就農事例又は先進技術等を視察し、農業の現状を把握

（７）農家実習（専門研修・部門別研修のみ、研修４か月目から）
県内の先進農家で週２日､農作業等の実習（先進農家へは各自の交通用具で通います）

（８）報告会
プロジェクト実習や農家実習の状況・結果を中間と期末に報告します

（９）トラクター基本研修
農耕車限定大型特殊自動車運転免許取得を目指す（千葉運転免許センターで実技試験）

（10）その他資格試験の紹介
日本農業技術検定、小型車両系建設機械特別教育、フォークリフト運転技能講習等
（農業大学校が試験会場となります）

区分		研修期間	募集人員	応募受付期間
前　期	基礎	令和５年 ４月１１日(火) ～６月３０日（金）	５名	令和５年 １月１０日(火) ～１月２７日(金) （消印有効）
	専門	４月１１日(火) ～９月２９日（金）	５名	
	部門別	４月１１日(火) ～令和６年３月８日(金)	１５名	
後　期	基礎	令和５年 ９月６日(水) ～１１月３０日(木)	５名	令和５年 ６月１２日(月) ～６月３０日(金) （消印有効）
	専門	９月６日(木) ～ 令和６年２月２９日（木）	１０名	

※農業者養成研修は、受講者の人数によっては研修区分(基礎・専門・部門別)の途中変更が可能です。

※農業者養成研修の部門別研修及び就農実践研修は、農林水産省の交付金制度「就農準備資金」の対象となる研修です（令和５年度以降、要件が変更となる場合があります）。

受講案内

〇応募資格：県内で職業として農業を始めようとする方又は農業従事者
※外国籍の方は「就労に制限が無い」在留資格であること

〇応募手続：所定の受講願書、履歴書、身上調書、営農調書、健康診断書（出願前３か月以内のもの）を持参又は郵送
※外国籍の方は「就労に制限が無い」ことが確認できる住民票やカード等の写しを併せて添付

〇選考方法：書類審査の上面接を行い、受講者を決定
面接終了後３週間以内に結果を通知

〇受　講　料：１か月３，３００円（別途、教科書代、校外見学費用、実習資材費等に実費約３万円が必要）

〇応募用紙（受講願書等）：応募用紙は千葉県立農業大学校のホームページからダウンロードするか、農業大学校農業研修科へ請求

実　習　風　景

露地畑でのベッド作成

ストックの定植作業

パイプハウスの組み立て実習

プロジェクト実習・農家実習の報告会

３　就農実践研修　―農業を実践してみる―

農業者養成研修を修了後さらに１年間、自分の力を試すための研修コース
これまで習得した知識や技術を用いて農作物の栽培･販売を行い、職員の助言のもとで就農に必要な栽培技術や農業経営の経験を積むための研修です。

【研修内容】
〇就農時目標作物の栽培と販売（直売等）を実践。
〇期間中の農産物販売は、職員の助言を受けながら自身で販路開拓、販売します。
〇収支について記録、分析し、研修成果として報告会で報告します。
〇農業大学校からは畑、ハウス、栽培器具、農業機械等を貸出しますが、種苗、肥料、農薬、その他消耗資材については自己資金で購入いただきます。

研修期間	募集人員	応募受付期間
令和５年４月１日 ～令和６年３月３１日	５名	令和５年 １月１０日(火) ～１月２７日(金) (消印有効)

受講案内

〇 応 募 資 格 ： 農業者養成研修の専門研修及び部門別研修を修了した方
農業生産法人等に勤務又は農業者としての実務経験があり、農業者養成研修の専門研修修了者と同等かそれ以上の知識及び技術があると校長が認めた方

〇応募手続・
選考方法･受講料： 農業者養成研修と同様

ねぎ栽培ほ場

トマト栽培ハウス

農業者養成研修・就農実践研修　修了後の進路

	研修生数（年間）	自立就農①	親元就農②	雇用就農③	継続研修	農業関連企業就職	農外	就農者数①＋②＋③	就農率①＋②＋③
令和元年度	27	16	3	3	3	0	3	22	81%
令和2年度	20	10	1	6	2	1	0	17	85%
令和3年度	31	(16)	(4)	(2)	(4)	(2)	(1)	(22)	71%

※「就農準備講座（土曜日７日間）」については調査から除外しています
※令和３年度の（ ）内は研修修了時のアンケートによる進路予定です

活躍する修了生

浦野　和洋（うらの　かずひろ）
（Ｈ２６年度農業者養成研修（後期専門研修）

外食産業や講師業、団体職員等の様々な社会経験を経て、農業の担い手不足に関心を持ち、自ら農業に携わりたいと考えて県立農業大学校の農業者養成研修を受講しました。

研修では、基礎的な知識・技術の他、県内で栽培される主な野菜と花の管理を学び、修了後は企業での勤務経験を生かした外国人も楽しめる観光農園を経営したいと考え、研修後半には観光いちご農家で農家実習をしました。

今では、研修先の農家に仲介していただいた農地で、２６ａの観光いちご園を経営しています。

山武市成東観光苺組合に加入している「なごみ苺苑」の浦野です。お客様に喜んでもらう為、毎日、美味しいいちご作りに励んでいます。

《その他の研修》

４　樹勢診断と回復技術講座

県内産業としての植木栽培に関心のある方を対象に、樹勢診断と回復技術講座を開催します。

受講案内

○募集人員：先着順３０名
○研修案内：研修開催の１か月前に、市町村、ＪＡ等に通知（例年１０月初旬に開催）
○受講料：無料（場合により、教材費等の実費がかかります）
○申込方法：研修案内に明記してある所定の項目を記入し、ハガキ又はＦＡＸで申込む

※有機農業研修については、千葉県安全農業推進課が主催し連携して開催します。

■就農準備講座・農業者養成研修・就農実践講座の問合せ先（願書郵送先）■

千葉県立農業大学校　農業研修科

〒283-0001　東金市家之子１０５９（油井農場ではありません）
TEL　０４７５-５２-５１４０　FAX　０４７５－５４－０６３０